

# 立つ、歩く、生活する

理学療法士ってなんだろう？

私は、自治医科大学附属病院で理学療法士として働き3年目になります。

まず、理学療法士の名前は知っていてもどんな職種なのだろう？と疑問を持たれた方も多いと思います。

理学療法士は国家資格で、医師の指示のもと、患者様の疾患・傷害による機能障がいや能力低下に対して、主に運動療法を実施し、関節の動き・筋力・協調性など身体機能の向上を図っています。またその状況に合わせて、車椅子や杖など歩行補助具、義肢装具、福祉関連用具を検討し、早期の日常生活獲得と社会復帰等をサポートしていく職業です。

同じ「歩けない」でも、疾患が異なれば原因や治療が異なります。関節が固まってしまいかせなかったり、脳や脊髄などの障がいや麻痺や感覚の障がいによって動けなくなったり、怪我でうまく動かしにくくなったりしてしまったり…。疾患・障がいを持たれた一人ひとりに合わせて、呼吸の仕方、姿勢の取り方、動かし方や誘導方法などをさまざまな評価から選択して運動療法をしていき、姿勢から運動、そして生活へと結びつ

けていく必要があります。

## 当院での理学療法

当院では、脳血管疾患・整形外科疾患・呼吸器疾患・心大血管疾患・がんに対する入院・外来紹介の患者の理学療法をチーム担当で行っており、主に入院の急性期の患者様が中心です。

私は現在、主に小児外来・がん・整形外科チームでのリハビリテーションをさせていただいています。今回は整形外科チームを例に説明させていただきます。

整形外科の患者様では、早くて術後翌日から理学療法を開始します。急性期であり、リスク管理が重要となります。医師の指示はどうか、CTやMRIなどの画像はどうか、血液データ上問題ないか、食事と栄養状態は問題ないか、などチーム医療と呼ばれるさまざまな連携を行いながら進めることが必要です。理学療法を開始してからは、回復が早い段階で昨日行っていた運動が翌日には不十分になってしまいう可能性がります。そのため、チームで相談しながら運動や負荷を変え、理学療法を行っていただきます。また、病棟とリハビリ



リテーションセンターの能力の差が開いてしまい、看護師から「リハビリだとこんなにも動けるんですね」といった声やご家族から「家ではどうしたらいいのでしょうか？」と聞かれたりすることもしばしば…。病棟での運動方法や介助方法、ご自宅を想定した環境調節や介助方法をご家族にお伝えすることも仕事のひとつです。日に日に変化する状態を確認しながら運動療法を検討し情報を共有していくことは、重要だと実感しながら理学療法を行っています。

## これからの理学療法

平成26年度診療報酬改定が実施されました。その中で理学療法士をはじめとしたリハビリテーション専門職の急性期病棟配置など、新たな取り組みが示されました。これは理学療法士が医療の予防の場面から介護の面まで幅広い分野で活動するようになるということであり、常にさまざまな視点から学習していく必要があると感じております。まだまだ未熟な面が多いですが、患者様やご家族の視点を忘れず地域のみなさまに貢献できるよう、これからも努力していきたいと思っております。

自治医科大学附属病院  
リハビリテーションセンター

理学療法士

白井

麻納美



しもつけクイズ

問1

- ① 下野ブランドに認定されている、グリムの森の冬の名物イベントは？
- ② 餅つき
- ③ イルミネーション
- ④ 凧上げ